

会議記録（要旨）

会議名	平成29年度 第1回杉並区子ども読書活動推進懇談会
日時	平成29年6月6日（火） 午後6時～8時
場所	中央図書館 児童資料室
出席者	委員 岩崎委員、津田委員、楠本委員、石川委員、沼田委員
	事務局 中央図書館長、中央図書館次長、事業係（石栗係長、伊藤）、資料相談係（佐川係長）、企画運営係（杉本係長、鈴木、松澤）
配付資料	<p>第1回 杉並区子ども読書活動推進懇談会 次第</p> <p>資料1 平成29年度 杉並区子ども読書活動推進懇談会名簿</p> <p>資料2 平成28年度第1～4四半期子ども読書活動進捗管理票</p> <p>資料3 「杉並区子ども読書活動推進計画」の改定について（案） 「杉並区子ども読書活動推進計画」目標項目の達成状況（別紙）</p> <p>杉並区子ども読書活動推進計画 平成28・29年度</p> <p>その他 委員持ち寄り資料</p>
<p><b>1 委員紹介</b> 各委員自己紹介</p> <p><b>2 平成28年度子ども読書活動推進計画進捗状況の報告について</b> 〈事務局から実施事業、進捗状況の説明〉（資料2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿佐谷図書館でのデジタル絵本読み聞かせ</li> <li>・「釜寺のひみつ」英語版の発行</li> <li>・大塚ろう学校、「重症心身障害児通所施設『わかば』」への出張読み聞かせ</li> <li>・図書館と中学校の学校司書が連携して、小学6年生向きブックリストを作成</li> <li>・リーフレット「小さい子を持つおうちの方へ」を子どもセンターで配布</li> <li>・情報提供として、前懇談会委員だった赤荻先生（現松溪中校長）が井荻中で取り組んだ読書活動をまとめた書籍を上梓したことを紹介</li> </ul> <p>〈質疑応答〉</p> <p><b>委員</b> 知的障害、情緒障害、ダウン症等の子どもの読書環境はどうなっているか？</p> <p><b>事務局</b> 学校図書館サポートセンターが済美養護学校の支援を行っている。中央図書館も団体貸出、読み聞かせ等の支援を始めた。学校司書も各学校で活動を行っている。</p> <p><b>委員</b> 小さい子を持つ親向けのリーフレット等を、公園や人の集まる場所等に置くことはできないか？</p> <p><b>事務局</b> 制約はあるが、置いて行くようにしていきたい。</p> <p><b>委員</b> 学校司書の現状はどうなっているのか？図書館と学校の連携は？</p> <p><b>事務局</b> 地域図書館と学校との連携は進みつつある。学校司書と図書館との懇談会も実施して、</p>	

情報交換を行っている。

### 3 杉並区子ども読書活動推進計画の改定について

〈事務局から説明〉(資料3)

〈質疑応答〉

- 委員** 「学校標準100%達成率」の平成33年度目標の80%は、特に中学校は高過ぎないか？
- 事務局** 達成率の低い学校に予算を重点的に配当して、早く100%に到達するよう努力している。
- 委員** 保育士への研修などの支援はボランティアと協働で行うのが現実的ではないか？
- 事務局** 保育課からの研修の要望も強く、まずは図書館職員が講師を務めるが、人数にも限度があるため今後のやり方を検討していく。
- 委員** 特別な支援が必要な子どもたちへのサービスは、どの程度行うのかはっきりさせた方がよい。
- 委員** 国際理解教育の内容はもっと具体的にさせる方がよい。
- 委員** 今の子どもは忙しすぎるのではないか。図書館が遊びの場としても機能してほしい。
- 事務局** 図書館がいろいろな子どもの「居場所」になっていけばよいと考えている。
- 委員** 「読書活動指導計画策定校の割合」が100%なので目標項目から削除する、とはどのような意味か？
- 事務局** 当初は済美教育センターが音頭を取って策定を進めてきたが、状況が進んで「100%が当然」という状態になったので、項目から削除することにした。
- 委員** 資料費の面で、各学校間の不公平が出ないようにしてほしい。
- 事務局** 杉並では蔵書が不十分な学校に予算を手厚く配分している。また予算の使い方や読書活動についても情報を共有している。
- 委員** 「調べ方教室」を実施する場合、スタンスや教え方が難しいのではないか？書籍中心の内容なのか、ネットも推奨するのか吟味が必要である。
- 事務局** 本かネットか、ということよりも、調べ方の基本の基本を教えるようにしている。
- 委員** 特別な支援が必要な人のためのサインやコーナーの工夫は、どのようなものを考えているのか？
- 事務局** 視覚障害や安全面等について、施設の改修もにらんでバリアフリー化を行う。また障害にも種類がいろいろあるので、研究を進めたい。
- 委員** オリンピックへの取組はムードに流されやすいので、内容はよく精査を行ってほしい。
- 事務局** 国際理解教育に関する学校への支援や、来館者向けサービスを進める。また、区内在住の外国人を意識したサービスも行う。外国人向けの杉並情報の発信もありうる。
- 委員** 児童・生徒数の増加で、学校図書館では本が不足気味である。また教室も子どもの増加に対応するので、学校図書館として使えるスペースが減少している。
- 委員** 未読率0%という目標は、自力で本を読めない子どもがいる以上絶対に無理である。
- 委員** オリンピック・パラリンピックへの取組については、各学校に調べたり交流したりする国が5カ国づつ割り当てられている。ぜひそうした際に役立つ関連資料が欲しい。
- 委員** 「読書活動指導計画」が100%の学校で策定されているのは素晴らしいが、問題は中身。策定がゴールにならないよう、計画をきちんと実行していく必要がある。

**事務局** 実行内容を報告してもらっている。

**委員** 教育委員会が校長を学校図書館長に指名する方法は、学校図書館の活性化に有効と言われている（長野県茅野市など）。杉並区では実現できそうなことなのか？

**事務局** 情報収集してみたい。

**委員** 調べ学習コンクールは学校司書と連携してほしい。

**事務局** 夏休みも司書は出勤しており、調べ学習の支援は現在でも行っている。コンクールには中学生の応募が少ないので、課題として考えている。

**委員** 放課後、夏休み等に、子どもの居場所になる児童館等での読書活動に力を入れてほしい。

**事務局** 学校内の学童クラブも増えてきており、今後の課題と認識している。

**委員** 赤荻先生の著書に書かれていることを、ぜひ各学校にフィードバックしてほしい。

**委員** 読書が好きではない子もいる、という視点は心の片隅に持ち続けていたい

#### 4 その他

##### 〈委員が持ち寄った資料をもとに意見交換〉

- ・千葉市立みずほハスの花図書館紹介
- ・各種新聞記事
- ・各種雑誌記事
- ・図書館と著作権に関するレポート

##### 〈次回開催予定〉

平成29年7月18日（火） 午後6時～